

令和2年度愛別町歳入歳出予算総括表

(単位：千円・%)

会計名	本年度予算	前年度予算	比較	増減率		
一般会計	3,459,000	3,320,000	139,000	4.2		
特別会計	国民健康保険	412,093	429,409	△ 17,316	△ 4.0	
	国民健康保険愛別診療所	137,759	154,834	△ 17,075	△ 11.0	
	後期高齢者医療	53,869	51,260	2,609	5.1	
	介護保険事業	553,243	549,536	3,707	0.7	
	公共下水道事業	194,228	358,458	△ 164,230	△ 45.8	
	小計	1,351,192	1,543,497	△ 192,305	△ 12.5	
	企業会計	簡易水道事業(収益的収支)	151,473	153,759	△ 2,286	△ 1.5
		簡易水道事業(資本的収支)	269,384	285,894	△ 16,510	△ 5.8
		小計	420,857	439,653	△ 18,796	△ 4.3
	合計	5,231,049	5,303,150	△ 72,101	△ 1.4	

■ 予算編成方針

愛別町は、平成30年度決算において、実質収支では101,047千円の黒字となっており、また、財政健全化法に基づき公表が義務付けられた4つの財政指標についても、実質公債費比率が6.6%（前年度比0.9%）、将来負担比率が17.7%（前年度比6.0%）と、いずれも国が定めた早期健全化基準の範囲内ではあるものの、地方交付税の減額、充当可能基金繰入額の増加により財政の硬直化は否めません。

近年の地方交付税については、町道の減少等により、実質的な減額推移となっています。さらに、人口減少対策や公共施設等の老朽化対策費の増加も見込まれることから、年々多様化する住民要望に対応するための各種行政サービスの持続性確保に向けた取り組みが求められます。

令和2年度においては、「第11次愛別町振興計画」の初年度にあたり、これまでの行財政改革や第10次愛別町振興計画による成果を継承しながら、農業や子育て・教育環境をはじめとする本町の特性・資源をさらに生かし、子どもが健やかに育ち、多くの人々が訪れるよう愛があふれるまちを目指し基本テーマである『子どもの笑顔かがやく恵みの大地 あいべつ』の実現に向けた将来の“あいべつ”の土台づくりであることを踏まえ、予算編成を行いました。

